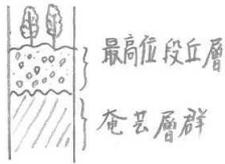


(3)-1 桑名の地質図・地質柱状図・地質断面図から考えよう。

()年()組()席・名前()

- 1 市之原層は、粘土・シルトの地層と、砂・れきの地層が交互に堆積しています。
- ①粘土・シルトが堆積したとき、水の流れはどのよう
 になっていたと考えられますか。 (水の流れは緩やかであった。)
- ②砂・れきが堆積したとき、水の流れはどのようにな
 っていたと考えられますか。 (水の流れは強かった。)
- 2 暮明層と大泉層には軽石火山灰層があります。 (火山活動があった。)
 これは何を意味していますか。
- 3 プリント「桑名の地層と地史」にある桑名丘陵地地質柱状図から、市之原層、暮明層、大泉層、最高位
 段丘層の堆積した順番を考えなさい。
 (市之原層) → (暮明層) → (大泉層) → (最高位段丘層)

- 4 最高位段丘層は奄芸層群の上に不整合で堆積しています。これは何を意味していますか。次の()
 の中に適当な言葉を入れて考えなさい。



(a 奄芸層群)が堆積した後、土地が(b 隆起)したために(a 奄芸層群)が
 浸食を受けた。その後(c 最高位段丘層)が堆積した。

- 5 最高位段丘、高位段丘、中位段丘のできた順序を考えなさい。また、段丘が3つあるということは、何を
 意味していますか。
 最高位段丘 → 高位段丘 → 中位段丘
 少なくとも土地の隆起または海水面の低下が3回あった。
- 6 桑名丘陵地地質断面図(A-B)からわかる大地の変
 化を答えなさい。 (しゅうきょく(桑名背斜))
 (不整合)
- 7 桑名背斜は、その曲がり方から、どちらの方向からど
 んな力を受けてできたと考えられますか。 (東側から押される力)
- 8 桑名丘陵地地質断面図(C-D)からわかる大地の
 変化を答えなさい。 (断層)
 (不整合)

- 9 下は桑名の地層と地史について表しています。()の中に適切な言葉を選びなさい。

東海湖、鈴鹿、高位段丘層、中位段丘層、しゅう曲、断層

290年前

100万年

市之原層→暮明層→大泉層→(a しゅう曲)→不整合→最高位段丘層→(c 高位段丘層)→
 (b 東海湖)の湖底 地上 (e 鈴鹿)山系からのれきが
 堆積する

→(d 中位段丘層)→沖積層

↓

(f 断層)